

令和6年度 指定管理者 評価報告書

No.	10	評価区分	I 文化交流施設、スポーツ施設、環境衛生施設、福祉施設
施設名	養護老人ホーム和光園	所管課	地域包括ケア課
指定管理者	社会福祉法人 吉城福祉会	地域名	古川町

1 施設の概要

施設所在地	飛騨市古川町下気多871番地1
設置目的	老人福祉法(昭和38年法律第133号)第15条第3項の規定による。
施設の概要	養護老人ホーム

2 指定管理者制度の導入状況

制度の当初導入	平成27年 4月	募集の方法	非公募
評価年度の属する指定期間	令和 2年度 ～ 令和 6年度 (5年間)		
利用料金制	無し		

3 職員の配置

配置人員	常勤	26人
	非常勤	14人

4 施設利用者の推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数 (人)	16,175	17,095	16,053	14,487
前年度増減比 (%)		5.7%	-6.1%	-9.8%

5 業務計画における達成状況

実施目標	達成状況
利用者数17,885人	介護認定3以上の方の特養移動や高齢で亡くなった方が多く、入所10名に対し退所が20名。達成率は81%となった。

6 モニタリングによる意見及び苦情等の把握と対応状況

アンケート方式	手段	入所者へのアンケート	件数	40 件
その他の方式	手段	入所者との語る会(面談方式)	件数	12 件
利用者等からの意見と対応		要望・意見・苦情	対応	
指定管理者に対する意見	①	ベッドサイドにトイレを置いてほしい	職員で検討、トイレを置く	
	②	ご飯をお粥にしてほしい	主治医に確認し、お粥を提供	
	③	なんでもいいので行事をして楽しみたい	毎月1回は参加できる行事を取り入れた	
市に対する意見	①	特になし		
	②			
	③			

7 地域との交流・連携の取り組み

取り組み	実績及び評価
・慰問、ボランティアの受け入れ ・地元高校生との交流	市内サークルによる二胡や大正琴の演奏鑑賞のほか吉城高校生とレクリエーションを通じ地域と交流。交流を持つことで地域との関係性も良好。

8 指定管理者からの提案方策の実施状況

取り組み	実績及び評価
利用者の要望・意見の把握	入所者を対象に年1回アンケートを実施。記入ができない入所者へは個別の聞き取りや月1回の語る会で意見把握。

9 自主事業の実施状況

実施内容	実績及び評価
自主事業の実施はなし	なし

10 人材育成の状況

実施内容	対象・回数など
法令講習・福祉車両のリフト操作方法講習	全職員 年1回

11 収支に関する状況(経費の縮減)

(単位:千円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	主な内容
収入	134,957	145,796	139,350	134,044	
指定管理料	13,941	18,145			
利用料金					
純売上高					
その他	121,016	127,651	139,350	134,044	
支出	128,208	144,899	144,006	147,720	
売上原価					
人件費	90,230	97,017	104,009	107,805	
光熱水道費	10,479	11,764	12,235	11,748	
設備保全費	2,141	2,107	2,107	2,380	
修繕費	268	204	302	152	
備品消耗品	1,946	3,503	1,858	1,762	
清掃費	167	189	190	158	
その他管理費	425	367	1,881	5,673	
運営費事務費	12,171	13,483	15,325	17,991	
その他	10,381	16,265	6,099	51	
指定管理業務収支	6,749	897	△ 4,656	△ 13,676	
自主事業収支					
全体収支	6,749	897	△ 4,656	△ 13,676	
備考					

※指定管理料が0円の施設の自主事業収支は、指定管理業務収支に含まれるものとする。

12 収入確保に対する取組

取り組み	実績及び評価
地域ニーズに応え幅広く受入れができる体制づくり	地域ニーズに応え幅広く受入れができる体制づくりとして夜勤体制をとり、安全な生活環境を整えている。

13 経費削減に対する取組

実施内容	実績及び評価
・消耗品等年間契約 ・光熱水費等節約取り組み	・年間単価契約による費用の抑制 ・季節毎に留意事項を確認し、職員と入所者で節約に取り組んだ。

14 指定管理者の評価

指定管理者制度運営委員会での審査を経て決定された最終評価

大項目	評価		前年	評価に対する内容
平等利用の確保(20)	b	(15)	b	精神疾患や介護の重度化等複雑化する生活課題に対し入所者の希望や状態に沿って福祉用具の利用やデイサービスの利用など支援の幅を広げて受入れ体制を整備している。養護老人ホームとして市唯一のセーフティネットの役割を担っている。
施設の効用の発揮(20)	b	(15)	c	介護認定3以上の方の特養移動や高齢で亡くなられた方が多く、入所10名に対し退所が20名。利用者数の目標達成率は81%となり、収入が減って赤字の決算となった。また、慰問の受入れとしては市内サークルの方の二胡や大正琴の演奏を鑑賞したり、吉城高校生とレクリエーション交流をするなど地域との関係性は良好である。
安定した管理能力(20)	c	(10)	c	財務面では各事業のチーフを対象に法人本部を加えて毎月会議を開催し、経営状況の確認と情報共有の場を持っている。加えて定期的な理事会・評議委員会の開催により経営事項について決定を行っており社会福祉法人としてのノウハウが活かされている。人材育成面では、入所者が支援・介護認定を受けている者が大半であることから、義務ではないものの虐待防止、身体拘束防止研修などを計画実施し職員育成の促進を行っていただきたい。
経費の縮減(20)	c	(10)	b	利用が多い消耗品や備品について年間契約による調達とすることで、コストダウンを図っている。また、光熱水費については職員間での情報共有のほか入所者を対象として季節毎に留意事項を確認するなど経費縮減に繋がる取組を実施している。経費のうち人件費が占める割合は多く、入所者数が減少する中、入所者支援のための職員の適正数を考え見直しを図っていただきたい。
自主事業等及び各課で定める項目等(20)	b	(15)	b	避難訓練の実施により職員と入所者で危機管理意識を持ち、災害の種類によって避難場所や避難方法が違うことを伝え、対応方法の確認を行っている。月に1度は園で行事を計画開催し、地域との交流を図りながら、季節を感じ、楽しみ、リフレッシュできるよう取り組んでいる。
総合評価	C+	(65)	C+	経済的理由や環境上の理由で自宅での生活が困難な対象者の受入れ体制を常に整備することで、養護老人ホームとして市唯一のセーフティネットの役割を担っている。しかしながら、入所者数が減少傾向である中、持続可能な経営のため支援員の適正数の見直しを図っていただきたい。